

基本理念に沿った 合併協議を



麦田 博穂議員

麦田博穂議員 合併協議のなかで、財政運営・行政サービス・事務事業など、十年後、十五年後を視野に入れた基本理念に沿った協議がなされたのか。

北村町長 基本理念は理解しているが、各町これまでの経緯があり、相互に妥協した点もあった。互助・互譲の精神がないと、合併は難しい。

麦田議員 互助・互譲も大事であるが、国・県からの交付税・補助金が減少して、財政的に厳しい

という共通の認識を持つて、協議するべきではなかったか。

町長 歳入に見合った歳出を基本に、自主・自立の自覚を共有していたとき、将来合併してよかつたと言える方向に持つていく必要がある。

町五〇年記念事業は

麦田議員 記念事業は、祝賀会や式典だけでなく、現在の人々の暮らしぶりや街並み、また、宮之城という町名が消えるので、緑のあるものを集めたり、記録に残すべきではないか。

町長 各団体代表で実行委員会を立ち上げて、町民の意見を反映した事業にする。

かくや姫グラウンド の活用策は

麦田議員 維持管理費が八〇〇万円かかることを考えると、経済効果があるように、合宿や大会の誘致を、積極的に進めべきではないか。

町長 町民のスポーツ振興、健康増進、交流人口の増大などのため、関係団体と連携を図り、効果があがるよう努力したい。

地域振興係の設置を

麦田議員 地域活動、高齢者ふれあいサロン事業など、公民館長・公民会

長の仕事が増大している。地域窓口職員制度のあることを説明し、活用してもらおうべきではないか。そして、できるなら、地域振興係を置く考えはないか。

町長 職員研修を行い、公民館長の方々に活用してもらおうようにしたい。振興係は、新町協議のなかで検討したい。

町職員の 各種手当制度改善を

麦田議員 職員の各種手当は、国並みにし、残業手当はある程度、払うべきではないか。振り替え休暇や変形労働時間制度を、町民に理解してもらうように広報を。

町長 国の制度と違って、いるものについては、今後、職員組合と協議していきたい。振り替え休暇や変形労働時間制度の周知については、そのようにしたい。



芝がきれいな「かくや姫グラウンド」